



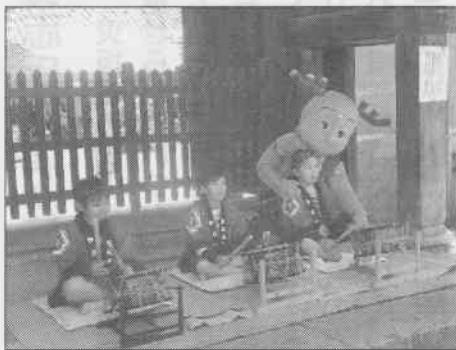
毎年、蘇武橋の観光案内所は地元の皆さんで、お迎えをいただいています。

5月15日・16日の両日、今井町並み散歩を開催しました。両日の人出は天候に恵まれ、計3万人と過去最高の人出となりました。
15日は今井宗久生誕490年を記念した献茶式・顕彰会を午後からは作家火坂雅志氏講演会を行いました。
16日は六斎市や茶行列といったイベントで多くの方に楽しんでもらいました。



発行 今井町並み保存会
発行日 平成22年6月1日
電話 0744-22-1128
<http://www3.kcn.ne.jp/~imaicho/>
e-mail imaicho@m3.kcn.ne.jp
◇ご意見・ご感想は
今井まちづくりセンターまで

稱念寺山門でのせんとくんと子供太鼓のコラボレーション。
「ねえ、ぼくにもたたかせてよ」



第15回今井町並み散歩



今井町衆市では、今井町と奈良県の物産、また堺からは手打ちそばの販売、橿原と姉妹都市の宮崎の地鶏を使った焼き鳥の販売で大いに賑わいました。

中井良子さんのかなりあさん。
今年も着物で華をそえていただきました。



今年も住民の皆さんの協力で、町並み散歩を終えることができました。例年今井婦人会にお願いしている重要文化財の公開に今井小学校のPTAの方にも協力していただきました。
こうして今井町で暮らす多くの方々が、自分たちの町を誇りに思い、来られた方をお迎えすることが今井の保存活動を支えてくれているのだという思いを新たにしました。



千葉大学や奈良女子大の学生さんが、サポートとしてたくさん来られ、行列にも参加していただきました。



檀原市長を始め、多くの来賓の訪れる中、粛々と式は進みました。

今井宗久生誕490年

献茶式・宗久顕彰会

鐘の音とともに、表千家奈良支部同門会の皆様による献茶式が始まりました。

お茶を点てる細かな一つ一つの動作に、観衆の熱い視線が注がれ、今井宗久、今井兵部への献茶が点てられたのちに、今井慶子住職代務による法要の読経の音が本堂に響きました。

献茶式というお茶の世界における一つの厳格な式典を今年開催できたことは、とても喜ばしいことです。稱念寺改修後に再び、開催できることが楽しみです。

火坂雅志氏講演会

9年前に、火坂雅志氏の著書『覇商の門』の面白さに魅せられ、いつか今井町で宗久について語っていただこうと思っていました。実際にお会いする火坂先生は背が高く、とても若々しく感じられました。

講演に先立って、生田流勝美会の方による箏の演奏でお客様をお迎えしました。稱念寺の本堂には一六〇人、会場の外のモニターには常時五〇人の聴講者がおられました。

火坂氏は小説執筆に当たって、宗久の縁の地といわれている滋賀県高島市を訪れられましたが、宗久との関連を見つけることはでき



NHK大河ドラマに「天地人」が選ばれた時の裏話なども披露されました。

ず、そこで火坂氏は今井町を訪れたとき、戦国時代大和随一の商都であった今井町こそ出

身地だと確信したそうです。

堺での宗久の活躍ぶりについては小説で楽しんでいただくこととして、小説後の話、宗久の息子の宗薫が徳川家康に仕え、その息子の松平忠輝と伊達正宗の娘五郎八姫の婚約成立に関わるなど、二代に渡る今井家の強い政治力の話もされました。

講演会後のサイン会では用意していた本が完売するという盛況ぶり。一冊一冊にサインをしていただき、火坂先生ありがとうございました。

いまい往来

6月28日(月) 小綱町 飛鳥川西岸

すももの荒神さん

6月30日(水) 夏越の祓い 春日神社

※茅の輪くぐりで穢れを祓い、

今年の夏も健康に

編集後記

来月号から「いまいは今」の編集部員が代わります。紙面の一層の充実を図るべく、皆さんからの情報をお待ちしております。

今井町内にお住まいの方やそうでない方もホームページやブログから保存会を応援していただきありがとうございます。なかなかコメントを返せませんが、楽しみに見えています。